

公表

放課後等デイサービス

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援室さくらん房		公表日		令和 7 年 9 月 1 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・業務監査など指摘をいただいた点を改善しています。 ・今のところ事例がありません。	アンケート実施による評価には法人事務局でも評価を行っています。現場以外の意見に耳を傾け、業務改善に繋げるようにしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・職員間で支援方針を話し合い、共有したうえで作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・作成した支援計画は職員全員で目を通し、内容を共有し支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・その日に利用される児童への支援や職員の動きを確認し適切な支援が行われるように打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・利用された児童の活動や支援内容を振り返り、次回の支援につなげられるようにしています。 ・始業前に打合せの時間を設けています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・主に児童発達支援管理責任者が出席しており、会議後は職員間で内容を共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・保護者様からの要望に応じて対応できるように体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・変更点を保護者様から学校へ伝えていただいているが、どこまでのことを事業所から学校へ伝えてよいのか、どこまでのことを伝えるべきなのか現行のやり取りで大きなトラブルはないため特別な改善は必要ないかと思えます。 ・基本的には保護者様との間での情報共有になりますが、必要に応じて学校へ連絡し対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	今のところ、相談支援事業所やご家族との情報共有で支援を行っています。	今の現状から目指す理想像に向けての支援に就学前の情報が必要と考えればご家族の了承のもと、他事業所とも繋がっていくように努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	・今のところ事例がありません。	求められた際は提供できる体制を心掛けます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・児童クラブなどの交流は現在は行っていません。	公園等に出掛けた際に地域の子ども達と自然な形で交流を継続していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・当事業所では練習プログラムとしてのペアレントトレーニングは行っていませんが、お子様の困りごとに対して具体的な対応方法をお伝えしています。また講座の案内などを掲示にて行っています。 ・同法人内のクリニック（たかのこころクリニック）では行っています。	案内や周知をしています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・モニタリングの際に保護者様とお子様の双方から意向を聞き支援に反映できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	・親の会の開催はしています。 ・例年開催は行っているものの、今年度はまだ保護者会等の交流会は設けられていません。	より多くの方にご参加いただけるように機会を作り開催出来るように考えていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・年4回、お便り（さくらん房だより）を発行し、活動の様子などをお知らせしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		利用されている本人やご家族のニーズに合わせて開かれた事業運営を考えていきます。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・策定した業務継続計画に沿って行動できるように定期的に内容を確認し非常時に備えてまいります。	・システム障害が発生した場合の流れを作っておくことで緊急時に落ち着いて対応することができるようにします。 ・策定内容の職員全員への周知、確認を定期的に行います。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		・策定した業務継続計画に沿って行動できるように定期的に内容を確認し非常時に備えていきます。
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・契約時に、既往歴等の確認を行い、服薬については利用毎に確認しています。 ・保護者様からのヒアリングで対応しています。	医師の指示書に基づく対応が必要な場合など健康面に関する調査は細かく聞き取りを行うようにします。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・保護者様から対応方法について確認を行っています。	
51		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・個別支援計画に盛り込み説明をしています。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・支援計画にて記載しています。 ・個別支援計画作成時に「案」「支援会議録」で文章を残しています。		